

平成 25 年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「大田原市須賀川地区」

第 1 回活動報告 H25・6・1(土)

宇都宮文星短大地域総合文化学科で調理師や栄養士を目指す学生・職員 13 名と同地区の活性化計画策定に関わった宇都宮大学工学部の大学院生・教授 5 名のあわせて 18 名が、晴天のもと地区内 2 カ所の茶畑で茶摘みの支援活動を行いました。受け入れ指導に当たったのは地区住民で組織する「やみぞあづまっぺ協議会」(鈴木一利会長)のメンバー 12 名です。

また、宇都宮文星短大生は、茶摘みのあと県茶手揉み保存会の内山会長や鈴木会長の指導を受けながら、お茶の手もみ加工に挑戦し製茶に仕上げました。



茶畑をバックに参加者全員で記念撮影



あいさつする鈴木会長



●茶摘み



地元の長内さんに茶の摘み方の指導を受けました



宇都宮大学生は夕方まで約 20 k g のお茶を摘みました





宇都宮文星短大生は1時間半で約3kgの茶を摘み、手もみ加工へ

●手もみ加工



指導は白衣に着替えた内山手揉み保存会会長です。まずは茶葉を蒸す工程から





蒸した茶葉は、その後もみきり、でんぐり、こくりといった作業工程を経ます



夕方、帰りの時間になったので、完成まであと少しでしたが、内山・鈴木会長と記念撮影してお別れしました。

●昼 食



昼食は、やみぞあづまっぺ協議会の女性たちが山菜おこわとフキの煮物、キュウリの漬物などでもてなしてくれました。おいしくておかわり希望続出でした。